



同時呼吸

<http://hachioji-school.ed.jp/sande/>

八王子市立
散田小学校
令和7年度
3月号

今月の目標

生活 校舎のすみずみまできれいにしよう
給食 1年間の給食を振り返ろう
保健 健康生活の反省をしよう

学校経営方針3つの柱

「心」を育てる 「言葉」をつむぐ 「体」をつくる

自分らしさ・自由・喜びを

校長 島田 学

とある放課後、1年生の女の子が校長室を尋ねてきました。その子はおずおずと部屋に入ると、私に1枚の手紙を差し出して、こう切り出しました。

「チョコちゃんに、このお手紙を届けてほしいの。」

手紙にはチョコの絵とともに「元気になってね」と書かれていました。この頃、アナウサギのチョコは高齢なこともあって、具合が悪く、職員室で世話をしていました。一緒に職員室に行き、チョコが休んでいる段ボール箱にその手紙を貼ると、彼女は少しだけほっとした様子で帰っていきました。

その後の職員打合せで、私は「何をどうすれば、そういう温かく優しい行動が生まれてくるんだろう?」と、先生方に投げかけつつ自問しました。

この時、自分は、彼女の「優しさ成分だけ」を取り出そうとしていました。でも、考えてみると優しさとそうでないものを分けることはできません。

月並みな言い方ですが、わずかに7歳ではありますが彼女の人生には、辛いことも嫌なこともあり、きれいなことばかりではなく、混然一体となっているはずです。

ただ、それでも「大好きなチョコちゃんの具合が悪い」という局面において「何かをしなれば」という思いに至っているのは、彼女が辛い経験も嫌な経験も最終的には温かさや優しさで包むことができるような向き合い方をしてきたからではないでしょうか。だからこそ、その行動に「彼女らしさ」を感じるのです。

話は飛びますが、ミラノ・コルティナオリンピックでは、選手たちのパフォーマンスに世界が湧きました。

選手たちは競技や演技に向かう時、極度の緊張やプレッシャーの中に置かれているはずですが、なんだかワクワク

していたり、満ち足りた表情を見せたりする選手もいます。

様々な条件や制約、壮絶な努力や忍耐や苦悩があったことも自分のものとしたパフォーマンスには何かから解放されたような自由を感じます。

かけ離れたような2つの話から思ったのは、自分にとって障壁や制約が何もないから「自分らしさ」を発揮できるとか「自由」であるとか、ということではないということです。時に距離を置いたり、避けたりすることは必要ですが、最終的には「らしくない自分、自由でない自分」と向き合うことが大切のように感じています。

人は過去から逃れることはできませんが、向き合うことによって「自分らしく」「自由」になることはできるのではないのでしょうか。

今年度も、様々な教育活動の中で子どもたちが「自分らしさ」を発揮し、「喜び」を感じている場面をたくさん見ることができました。

一方で、友人関係や学習面で悩み、学校生活に不安を抱える子どももいました。子どもが不安や苦しさを抱えたままになることを、私たちは決してよしとはしません。全ての子どもたちが、小さくても喜びを見出し、生きる力を得ることができるよう、今後も様々な課題に、保護者・地域の皆様と連携し、粘り強く対応しながら、共に学校づくりを進めて参ります。お気付きの点がございましたら、いつでも学校までご相談ください。

1年間、学校を支えてくださった全ての皆様に感謝申し上げます。



マチコミメール（配信メール）の補助的な運用についてのお願い

日頃より「Home&School」の運用にご協力いただきましてありがとうございます。

以下の理由から、引き続き補助的な情報配信手段として「マチコミメール」を運用させていただきます。

○不測の事態（システムや通信の不具合・災害等）の際の情報配信手段（別系統）の確保

○年度末・年度始めのシステム更新時の連絡手段

○新入学児童の保護者の皆様や、卒業後の連絡手段の確保（卒業アルバム配布後に登録を削除）

「Home&School」は、今後もメインとして活用していきます。「マチコミメール」は、補助的な運用を継続させていただきます。「マチコミメール」の登録削除やアプリを削除されている方は、担任までお知らせください。

※一度登録された方は、そのまま学年更新させていただきます。

